

音更町都市計画審議会会議結果（要旨）

会 議 名	音更町都市計画審議会（平成24年度 第4回）
開 催 日 時	平成25年2月15日(金) 午後2時から午後3時30分まで
開 催 場 所	音更町役場 2階 第1・第2委員会室
委 員 出 席 者	林会長、岩淵委員、木野村委員、佐々木委員、高野委員、東端委員、長沢委員、平山委員、吉谷委員
事 務 局 出 席 者	寺山町長、木下建設水道部長、市瀬建設水道部次長、恩田都市計画課長、福田土木課長、岩館建築住宅課長、背戸田都市計画係長、国枝開発指導係長、戸田街路公園整備係長、西岡都市計画係主任
議 題 ・ 諮 問 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 議件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第1号 帯広圏都市計画道路の変更について ・ 協議第1号 音更町都市計画マスタープランの見直しについて ・ 協議第2号 音更町緑の基本計画の見直しについて
会 議 資 料	議案についてはホームページに添付しています。
会 議 結 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第1号 帯広圏都市計画道路の変更について 原案のとおり承認 ・ 協議第1号 音更町都市計画マスタープランの見直しについて 事務局案のとおり進めることを承認 ・ 協議第2号 音更町緑の基本計画の見直しについて 事務局案のとおり進めることを承認
出された主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第1号 帯広圏都市計画道路の変更について 意見なし ・ 協議第1号 音更町都市計画マスタープランの見直しについて <p>委 員： 既存住宅地の充実、建ぺい率・容積率の緩和とあるが、用途地域の色塗りを変えるということか。建ぺい率を緩和するということは、緑のまちづくりの観点からいくと方向性が反対ではないだろうか。</p> <p>事務局： 実際に緩和が必要なのかどうか、実態把握等も含めて今後の検討課題。建ぺい率・容積率については帯広圏域で基準を持っているので、圏域との調整等も踏まえて検討する。</p> <p>委 員： 現在の国道241号の渋滞等が人口減少の要因になると考える。国道の拡幅を緊急の課題として盛り込んでどうか。</p> <p>事務局： 4車線化の促進については現都市マスでも盛り込まれており今後も要望していくスタンスは変わらない。</p> <p>委 員： 環境負荷低減の取り組みとあり、具体的には今後検討してい</p>

	<p>くことだと思うが、市町村がソーラーパネルを設置して売電する事例があるので、町でも検討してはどうか。</p> <p>事務局： 環境負荷低減の取り組みについては、街路灯の省エネ化、家庭用太陽光パネル設置に対する補助など、すでに取り組んでいるものもある。町による大規模ソーラーパネルの設置は、送電網の関係や、適当な町有地がないことから、現時点では難しいと考えるが、新設する公共施設についてはソーラーパネルを設置している。</p> <p>委員： 十勝川温泉が市街化区域に編入されてから今まで、具体的にどのような整備が行われたのか。また、十勝川温泉への案内看板等をもっと設置すべきと考えるが。</p> <p>事務局： 具体的に何かが整備されたというのはない。案内看板の件については所管課と協議する。</p> <p>・協議第2号 音更町緑の基本計画の見直しについて</p> <p>委員： 数値目標を下方修正しているが、具体的にシミュレーションをして出た数値なのか。</p> <p>事務局： 当初計画策定時には、市街化区域が将来的に拡大していくとの想定に基づき計画していた公園等について、現状では市街化区域の拡大が難しい状況であることから、それらを除いて積み上げた数値としている。</p> <p>委員： 土地利用計画と目標人口についてもっと議論が必要では。</p> <p>委員： 将来人口について、今後は都市計画区域外の人口が減っていくという推計になるべきではないか。</p>
お 問 合 せ 先	建設水道部都市計画課都市計画係（内線312）